



学校教育目標

校報

緑が丘

生き生きとしたみどりの子

盛岡市立緑が丘小学校

令和6年10月18日(金)

第31号(文責 和美智教)

ホームページの「みどりの子ダイアリー」で、子供の様子をご覧ください。



子供が主役の運動会

10月12日(土)に運動会が行われました。今年度の運動会は、これまで以上に「子供が主役の運動会」でした。

子供が探的に運動会をつくる姿がたくさんありました。

一人一人が思いをもち、練習から予行練習、予行練習から練習、練習から運動会当日、思いを実現しようと活動していました。とくに、予行練習をもとに、子供が「どんな運動会にしたいか」考え練習に取り組み、大きな成長がありました。

子供一人一人の感情、思いが伝わる運動会でした。子供の笑顔がたくさんありました。

教師の手のひらで頑張る運動会から、教師の手を離れ、自分を思いっきり出すことができた運動会に変わりました。

この運動会の挑戦は、必ずこれからの一人一人、学級、学年、学校での活動に生きていくと思います。

これからも、子供一人一人が、自由な発想で、思い切って活動することを、支えていきます。

運動会に関わるおうちの方々のご協力、ご声援、ご理解に感謝しております。これからも、よろしく願います。



【保護者アンケートから】

- ・ 工夫もされていて、何よりも子供主体で、みんなで考えているところが出ていて、すばらしい運動会だった。
- ・ 6年生が低学年の出番の後に励ましの声をかけていたのがよかった。
- ・ 応援団がリーダーとなり、声をかけて全体をまとめている姿が印象的だった。5、6年生で作りに上げた運動会だと感じた
- ・ 「ちゃんと整列しよう」と声をかけ合うなど、自分たちでよい運動会にしたい思いが伝わった。
- ・ 先生が前に出て踊らないことで、みんながきちんと覚えて踊っていてすばらしかった。
- ・ 子供たちが生き生きとしていて、自分たちで考えながら行動をしている様子が見ていて分かった。
- ・ どの子供も生き生きとしていて楽しそうだった。応援合戦なども紅白それぞれに工夫を凝らして団結力を感じた。
- ・ 子供が主役の運動会、とてもすばらしかった。子供が躍動していて、仲間と心を合わせる姿が随所に見られて心に残った。
- ・ 子供が主体となった運動会であり、子供1人1人が輝き、やる気に満ちていたように感じた。
- ・ クラスのみんなで振付やポーズを考え、練習に励んだり、作戦会議をしたり、昨年までには見られなかった姿を見ることができた。
- ・ 今年は、自分たちで考えて挑戦する、新しい運動会で、子供が力を、思う存分、力を発揮出来た運動会だったと思う。

時間、内容、種目、会場、事前の通信やアナウンスなどの情報提供、プログラムなどについて、ご意見をいただきました。来年度の運動会に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。